

授業科目	生理解剖学 I		単位	生理解剖学 I で1単位	時間数	8時間	講義時期	1年次前期	担当者	フラピエ かおり	
									職種	看護師	
授業のねらい・目標	<p>人間が日常生活を営み、生きていくためのメカニズムについて理解し、看護を展開する基礎的知識を養う</p> <p>1. 人体の構成と系統について理解する 2. 細胞と臓器と器官との間の関係について理解する</p>										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当		
		1	人体の構成と区分					講義・演習	フラピエ		
		2	細胞とは					講義	フラピエ		
		3	組織とは					講義	フラピエ		
		4	人体の構成と区分 発表					講義・演習	フラピエ		
		5	試験						フラピエ		
評価方法	レポート及び授業、小テストと定期試験の結果により総合的に判断する。										
履修上の注意											
テキスト	坂井 建雄 編, 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学, 医学書院										
参考図書	<p>ナースが観る人体 薄井担子(講談社)</p> <p>人体解剖ビジュアル からだの仕組みと病気(村松譲児)</p> <p>クイックマスター 生理解剖学(医学芸術社)</p>										

授業科目	生理解剖学 I		単位	生理解剖学 I で1単位	時間数	8時間	講義時期	1年次前期	担当者	徳山 今日子	
									職種	専任教員	
授業のねらい・目標	<p>人間が日常生活を営み、生きていくためのメカニズムについて理解し、看護を展開する基礎的知識を養う</p> <p>1. 視覚・聴覚・平衡感覚・味覚・嗅覚など、人が感じる様々な感覚器の構造と機能を理解する</p>										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当		
		1	皮膚・体性感覚					講義	徳山		
		2	眼・視覚					講義	徳山		
		3	耳・聴覚・平衡					講義	徳山		
		4	味覚・嗅覚					講義	徳山		
		5	試験						徳山		
評価方法	小テストと筆記試験の結果により総合的に判断する。										
履修上の注意											
テキスト	坂井 建雄 編, 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学, 医学書院										
参考図書	坂井 建雄 編, 人体の正常構造と機能, 日本医事新報社 高野 實子 編, 解剖生理学, 南山堂										

授業科目	生理解剖学 I	単位	生理解剖学 I で1単位	時間数	14時間	講義時期	1年次前期	担当者	川合 陽子
								職種	専任教員
授業のねらい・目標	<p>人間が日常生活を営み、生きていくためのメカニズムについて理解し、看護を展開する基礎的知識を養う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命を連続させていくための器官と働きについて理解する 2. 女性生殖器の構造と機能について理解する 3. 男性生殖器の構造と機能について理解する 4. 妊娠の成立と胎児の発生・性分化のメカニズムについて理解する 								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	生殖と性、女性生殖器の構造(卵巣・卵管・子宮・膣・外陰部・会陰・乳房)				講義	川合	
		2	女性の生殖機能:性周期(子宮周期、卵巣周期)視床下部-下垂体-性腺(卵巣)の内分泌調節機構女性ホルモン(エストロゲン・プロゲステロン)の作用機序				講義	川合	
		3							
		4	女性の生殖機能:妊娠の成立と生理的变化、乳腺の発達と乳汁分泌のメカニズム 女性の生殖機能:性周期小テスト				講義	川合	
		5	男性生殖器の構造と機能:精子の形成と成熟、視床下部-下垂体-性腺(精巣)の内分泌調節機構 男性ホルモンの作用機序				講義	川合	
		6	男性の生殖機能小テスト				講義	川合	
		7	胎児の発生:生殖細胞と受精、初期発生と着床、胎児と胎盤、胎児の血液循環				講義	川合	
		8	試験					川合	
評価方法	小テスト・筆記試験								
履修上の注意	生殖器は個体の生命維持には直接関係しませんが、次の世代の個体を生みだして種を維持する役割を持っています。わたしたちひとりひとは極めて小さい存在であり、いずれ死を迎えますが、人間は生命を引き継ぐ生殖というメカニズムをもって生まれてきた存在です。自分自身のなかにある神秘と生殖のメカニズムについて共に学びましょう。								
テキスト	坂井建雄編, 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能①, 医学書院								
参考図書	末岡浩編, 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨, 医学書院 今井亜矢子編, 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧, 医学書院								

授業科目	生理解剖学Ⅱ	単位	生理解剖学Ⅱ で1単位	時間数	12時間	講義時期	1年次	担当者	松浦 じゅん
								職種	専任教員
授業のねらい・目標	<p>人間が日常生活を営み、生きていくためのメカニズムについて理解し、看護を展開する基礎的知識を養う</p> <p>1. 全身の骨は、身体を形作り支え、日常生活の拡大に関する器官であることが理解する 2. 全身の筋肉の構造は、骨格と協働して身体の運動と姿勢をつかさどることが理解する</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	人体の骨格 骨の名称 骨の形態と構造 骨組組織 身体を支える脊柱の構造				講義	松浦	
		2	骨の組成 骨の発生と成長 関節の構造 関節の名称 関節の運動				講義	松浦	
		3	関節の形状と可動性 骨格筋・心筋・平滑筋の特徴				講義	松浦	
		4	骨格筋収縮のメカニズム 筋の作用 フィラメント				講義・GW	松浦	
		5	筋収縮のエネルギー ATP分解 収縮の種類 骨格筋肥大と増強				講義	松浦	
		6	人体の動きと筋の働き				講義	松浦	
		7	試験					松浦	
評価方法	筆記試験30点								
履修上の注意	<p>身体の“動き”に関わる単位ですので、体を動かすこともあります。</p> <p>予習・復習をすること。看護師国家試験の出題基準に沿って、項目ごと用紙に整理していくこと。理解度の確認のために小テストをすることもあります。看護師国家試験の出題基準に沿って、項目ごと用紙に整理していくこと。</p>								
テキスト	坂井建雄, 系看 専門基礎 人体の構造と機能① 解剖生理学, 医学書院								
参考図書	<p>山内豊明, フィジカルアセスメント ガイドブック, 医学書院</p> <p>田中越郎, イラストで学ぶ生理学, 医学書院</p> <p>松村譲児, イラストで学ぶ解剖学, 医学書院</p> <p>織田弘美ほか, 系看 専門Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器, 医学書院</p>								

授業科目	生理解剖学Ⅱ		単位 生理解剖学Ⅱ で1単位	時間数	18時間	講義時期	1年次前期	担当者	増田 幸子
								職種	専任教員
授業のねらい・目標	<p>人間が日常生活を営み、生きていくためのメカニズムについて理解し、看護を展開する基礎的知識を養う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命を維持していくにあたって、重要な器官であることを理解する 2. 呼吸のしくみと役割を理解する 3. 心臓のしくみと役割を理解する 4. 血管の構造としくみについて理解する 5. 体温調節について理解する 6. 呼吸と循環のつながりを理解する 								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	呼吸器の解剖				講義・GW	増田	
		2	呼吸とは				講義・GW	増田	
		3	ガス交換				講義・GW	増田	
		4	心臓の解剖	小テスト			講義・GW	増田	
		5	冠動脈				講義・GW	増田	
		6	刺激電動系				講義・GW	増田	
		7	心拍とは	小テスト			講義・GW	増田	
		8	血圧				講義・GW	増田	
		9	呼吸と循環	小テスト			講義・GW	増田	
		10	試験					増田	
評価方法	課題の提出状況、筆記試験、小テストを含む								
履修上の注意	授業の臨む際に教科書を読んで予習しておくことが望ましい 授業で配布したプリント・資料はファイルに付箋をつけて整理・保存しておくこと								
テキスト	坂井建雄、系統看護学講座、専門基礎分野、解剖生理学、人体の構造と機能①、医学書院 松村譲児、イラストで学ぶ解剖学、医学書院 田中越郎、イラストで学ぶ生理学、医学書院								
参考図書	坂井建雄、河原克雅、人体の正常構造と機能、日本医事新報社 村松譲児、人体解剖ビジュアル からだの仕組みと病気、サイオ出版 田中越郎、イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき、医学書院								

授業科目	生理解剖学Ⅲ	単位	生理解剖学Ⅲ で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次前期	担当者	小沼 由美
								職種	専任教員
授業のねらい・目標	<p>人間が日常生活を営み、生きていくためのメカニズムについて理解し、看護を展開する基礎的知識を養う</p> <p><血液・リンパ系></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体液のしくみとそれぞれの役割について理解する。 2. 血液の構成・血球成分の分類とそれぞれの機能を理解する。 3. 免疫機能について理解する。 4. 血液凝固と線溶のしくみについて理解する。 5. 血液型の種類と適合方法、不適合について理解する。 								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	体液の仕組みと役割				講義	小沼	
		2	血液の働きと構成				講義	小沼	
		3	赤血球の発生と貧血				講義	小沼	
		4	白血球の働きと免疫機能				講義	小沼	
		5	血液凝固因子と機序、線溶 血液型				講義	小沼	
		6	試験					小沼	
評価方法	事前レポートの内容 筆記試験(小テスト・単元テスト)								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に授業範囲を伝えるので、内容をまとめて提出してください。内容に応じて試験の点数に加味します。 ・2回毎の講義の小テストを行います。小テストで6割未満の点数の場合は、振り返りレポートを提出してもらいます。 ・単元の最後に単元テストを行います。小テスト・単元テストを合算し、試験の点数とします。 								
テキスト	坂井建雄, 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能①, 医学書院 松村譲児, イラストで学ぶ解剖学, 医学書院 田中越郎, イラストで学ぶ生理学, 医学書院								
参考図書	黒田純也, 病気がみえる⑤血液, メディックメディア 林正健二, ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能 解剖生理学, メディカ出版								

授業科目	生理解剖学Ⅲ	単位	生理解剖学Ⅲ で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次前期	担当者	小沼 由美
								職種	専任教員
授業のねらい・目標	<p>人間が日常生活を営み、生きていくためのメカニズムについて理解し、看護を展開する基礎的知識を養う</p> <p><内部環境の調整></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内分泌器官の場所・名称、分泌するホルモンの名称・働きについて理解する。 2. ホルモン分泌の調整について理解する。 3. 血液中の糖代謝に関わるホルモンについて理解する。 4. 血液中のカルシウム代謝に関わるホルモンについて理解する。 5. 汎適応症候群のしくみについて理解する。 								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	ホルモンの特性				講義	小沼	
		2	視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺の働き				講義	小沼	
		3	カルシウム調整のしくみ 膵臓の働き				講義	小沼	
		4	副腎皮質、髄質の働き 血圧維持のしくみ				講義	小沼	
		5	汎適応症候群の仕組み				講義	小沼	
		6	試験					小沼	
評価方法	事前レポートの内容 筆記試験(小テスト・単元テスト)								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に授業範囲を伝えるので、内容をまとめて提出してください。内容に応じて試験の点数に加味します。 ・2回毎の講義の小テストを行います。小テストで6割未満の点数の場合は、振り返りレポートを提出してもらいます。 ・単元の最後に単元テストを行います。小テスト・単元テストを合算し、試験の点数とします。 								
テキスト	坂井建雄, 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能①, 医学書院 松村譲児, イラストで学ぶ解剖学, 医学書院 田中越郎, イラストで学ぶ生理学, 医学書院								
参考図書	森野勝太郎, 病気がみえる③糖尿病・代謝・内分泌, メディックメディア 林正健二, ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能 解剖生理学, メディカ出版								

授業科目	生理解剖学Ⅲ	単位	生理解剖学Ⅲ で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次前期	担当者	小沼 由美
								職種	専任教員
授業のねらい・目標	<p>人間が日常生活を営み、生きていくためのメカニズムについて理解し、看護を展開する基礎的知識を養う</p> <p><肝臓と胆嚢、体液の調整と尿の生成></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肝臓・胆嚢の構造と機能について理解する。 2. 泌尿器系に属する器官と役割について理解する。 3. 腎臓の構造と機能について理解する。 4. 腎臓とホルモン(体液と血圧の調整)について理解する。 5. 酸・塩基平衡を調整するメカニズム、アシドーシスとアルカローシスについて理解する。 								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	肝臓の構造と機能				講義	小沼	
		2	胆嚢の構造と機能				講義	小沼	
		3	腎臓の構造、尿生成のメカニズム				講義	小沼	
		4	排尿器				講義	小沼	
		5	体液の調節				講義	小沼	
		6	試験					小沼	
評価方法	事前レポートの内容 筆記試験(小テスト・単元テスト)								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に授業範囲を伝えるので、内容をまとめて提出してください。内容に応じて試験の点数に加味します。 ・2回毎の講義の小テストを行います。小テストで6割未満の点数の場合は、振り返りレポートを提出してもらいます。 ・単元の最後に単元テストを行います。小テスト・単元テストを合算し、試験の点数とします。 								
テキスト	坂井建雄, 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能①, 医学書院 松村譲児, イラストで学ぶ解剖学, 医学書院 田中越郎, イラストで学ぶ生理学, 医学書院								
参考図書	武藤学, 病気がみえる①消化器, メディックメディア 池森敦子, 病気がみえる⑧腎・泌尿器, メディックメディア 林正健二, ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能 解剖生理学, メディカ出版								

授業科目	生理解剖学IV	単位	生理解剖学IV で1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次前期	担当者	松田 千春
								職種	専任教員
授業の ねらい ・目標	<p>人間が日常生活を営み、生きていくためのメカニズムについて理解し、看護を展開する基礎的知識を養う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.食物の消化、吸収、排泄の器官について理解する 2.消化、吸収、排泄のメカニズムについて理解する 3.消化、吸収に關与する消化液、消化ホルモン、消化酵素について理解する 4.腹膜と臓器の關係について理解する 								
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題				方法	担当者	
	食と 排泄	1	消化器とは、消化器の全体像、腹膜内器官と後腹膜器官				講義	松田	
		2	1. 口の構造と機能				講義	松田	
		3	2. 咽頭と食道の構造と機能、咀嚼と嚥下				講義	松田	
		4	3. 胃の構造と機能				講義	松田	
		5	4. 小腸の構造と機能、膵臓の構造と機能				講義	松田	
		6	5. 栄養素の消化と吸収のメカニズム				講義	松田	
		7	6. 大腸の構造と機能				講義	松田	
		8	テスト					松田	
評価方法	筆記試験(授業内の小テスト2回を含む)								
履修上の 注意	<p>授業で配布したプリントはファイルに綴じて管理すること。 小テストを2回実施。6割未満はレポート提出。 各授業前に生理解剖レポートの作成をして提出すること。期限に提出できない場合、修了試験から減点します。(1枚につき5点)</p>								
テキスト	<p>坂井建雄、系統看護学講座、専門基礎分野、解剖生理学、人体の構造と機能①、医学書院 松村讓兒、イラストで学ぶ解剖学、医学書院 田中越郎、イラストで学ぶ生理学、医学書院</p>								
参考図書	<p>増田敦子、解剖生理をおもしろく学ぶ 医学芸術者 江連和久、看護学生のための解剖生理 メジカルフレンド社 医療情報科学研究所、イメカラ(イメージするカラダのしくみ)肝・胆・膵 メディックメディア 医療情報科学研究所、イメカラ(イメージするカラダのしくみ)消化器 メディックメディア</p>								

授業科目	生理解剖学IV	単位	生理解剖学IV で1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次前期	担当者	宮崎杏子
								職種	専任教員
授業のねらい・目標	<p>人間が日常生活を営み、生きていくためのメカニズムについて理解し、看護を展開する基礎的知識を養う</p> <p>1. 神経系は身体各部の行動や連絡を統率しており、その役割は大きい。人間としての物の考え方、行動は十人十色であり、その人らしさをつくり出しているのもこの神経系であり、この仕組みについて理解する</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
	脳・神経系	1	神経系の概要 ニューロン・情報伝達・神経系の構造				講義	宮崎	
		2	脳の構造 中枢神経と脊髄について				講義	宮崎	
		3	中枢神経 間脳・大脳				講義	宮崎	
		4	末梢神経 脳神経				講義	宮崎	
		5	自律神経 交感神経・副交感神経				講義	宮崎	
		6	脳の高次機能について				講義	宮崎	
		7	脳血管系の構造と機能				講義	宮崎	
		8	試験					宮崎	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意	<p>予習復習をして講義に臨むこと。 理解度把握のため小テストをします。それを活用して反復学習をし、理解につなげましょう。 看護師国家試験の出題基準にそって、項目ごと用紙に整理をしていくこと。</p>								
テキスト	<p>坂井建雄、系統看護学講座、専門基礎分野、解剖生理学、人体の構造と機能①、医学書院 松村譲児、イラストで学ぶ解剖学、医学書院 田中越郎、イラストで学ぶ生理学、医学書院</p>								
参考図書	<p>尾岸恵三子監訳 ヒューマンボディ エルゼビア・ジャパン エレイン N. マリーブ 人体の構造と機能 医学書院 田中越郎 イラストでまなぶ人体のしくみとはたらき 医学書院</p>								

授業科目	生理解剖学V 演習		単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次前期	担当者	塚田 佳代美 大澤 恵実子 市川貴志	
									職種	専任教員	
授業の ねらい ・目標	<p>生理解剖学Ⅰ～Ⅳの知識を統合し、日常生活行動における現象を理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「食べる」「トイレに行く」の枠組みに基づき基礎知識の整理ができる。 2. 解剖学・生理学の知識をつなぎ合わせ身体の仕組みを理解する。 3. 「食べて、トイレに行く」という毎日繰り返されている行動に基づいたストーリーを展開し、日常生活行動の営みを説明できる。 4. メンバー間で共同学習を行うことで知見を広げ、多角的に考え理解を深めることができる。 5. 発表を聴講し一連の流れを統合して、事前学習した内容を補足し深い知識を深めることができる。 6. 日常生活行動の理解の上に、看護実践が成り立つことがわかる。 										
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題					方法	担当者		
	まとめ 演習	1	事前学習発表と事例グループ学習					講義	塚田・大澤・ 市川		
		2	事例検討グループワーク					講義	塚田・大澤・ 市川		
		3	事例検討グループワーク					講義	塚田・大澤・ 市川		
		4	事例検討グループワーク・中間発表					講義	塚田・大澤・ 市川		
		5	ポスターセッション					発表会	塚田・大澤・ 市川		
		6	ポスターセッション					発表会	塚田・大澤・ 市川		
		7	グループ学習会とまとめ					グループワーク	塚田・大澤・ 市川		
		8	試験						塚田・大澤・ 市川		
単元ごとは順不同です。											
評価方法	演習の参加状況、発表、筆記試験で評価										
履修上の 注意	4月からの生理解剖学の講義を復習しファイル作成を行っていきます。そのファイルを活用してグループで進めていくので、責任をもって準備をする必要があります。提示された事例を理解できるようグループで協同学習を進めていきます。										
テキスト	坂井建雄、系統看護学講座、専門基礎分野、解剖生理学、人体の構造と機能①、医学書院 松村譲児、イラストで学ぶ解剖学、医学書院 田中越郎、イラストで学ぶ生理学、医学書院										
参考図書	事例に基づいて必要な参考文献は図書室で検索してください。										

授業科目	栄養生化学	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次前期	担当者	池田雅彦 フラピエかおり	
								職種		
授業のねらい・目標	<p>人間の生命現象を科学的側面から捉え、物質代謝、エネルギー代謝の仕組みについて学習し、疾患の病態を捉えるために役立つ知識を身につける。</p> <p>1. 生体を構成する種々の物質が生体内でどのような働きをしているのかを学ぶ 2. 物質が身体の内側でどのように合成され分解されるのか学ぶ</p>									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
		1	栄養と生化学・人体と栄養化学・食物と栄養				講義	池田		
		2	糖質の栄養化学				講義	池田		
		3	脂質の栄養化学				講義	池田		
		4	タンパク質の栄養化学				講義	池田		
		5	エネルギーの栄養化学				講義	池田		
		6	酵素の栄養化学				講義	池田		
		7	ビタミン・ミネラルの栄養化学				講義	池田		
		8	遺伝子の生化学				講義	池田		
		9	食物摂取基準				講義	池田		
		10	成長・生活と栄養				講義	池田		
		11	栄養療法				講義	池田		
		12	三大栄養素の代謝①				講義	フラピエ		
		13	三大栄養素の代謝②				講義	フラピエ		
		14	酵素の働き(消化と合わせて)				講義	フラピエ		
		15	試験・トピックス				試験・講義	池田		
評価方法	筆記試験									
履修上の注意	教科書をよく読むこと。									
テキスト	亀山鎮次 系看 人体の構造と機能2 生化学 医学書院									
参考図書										

授業科目	微生物学	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次	担当者	石井 明
								職種	
授業のねらい・目標	<p>微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解し、対処方法について学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細菌、真菌、原虫、ウイルスなど種々の微生物の性状とその特徴を学ぶ。 2. 病原体が引き起こす感染症についてその病態、診断、予防及び治療法を学習する。 3. 病原体の感染に対する生体の免疫反応や防御機構を理解する。 4. 医療看護の場において病原体の感染から患者、職員及び自分を守る知識を養う。 								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	微生物総論①				講義	石井	
		2	微生物総論②				講義	石井	
		3	感染と感染症①				講義	石井	
		4	感染と感染症②				講義	石井	
		5	生体防御機構①				講義	石井	
		6	生体防御機構②				講義	石井	
		7	感染症の予防①				講義	石井	
		8	感染症の予防②				講義	石井	
		9	感染症の診断				講義	石井	
		10	感染症の治療				講義	石井	
		11	細胞学各論				講義	石井	
		12	真菌学各論				講義	石井	
		13	ウイルス①				講義	石井	
		14	ウイルス②				講義	石井	
		15	試験 微生物学総括					石井	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意	講義時間では教科書の全ての内容を十分に解説できないので、各自、教科書や参考書を参考にして自主的に学習すること								
テキスト	吉田眞一ほか, 系看: 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進④微生物学, 医学書院								
参考図書	吉田眞一他編集, 戸田新細菌学[改訂33版], 南山堂 柳原保武・多村憲編集, 微生物学－病原微生物の基礎－[改訂第5版], 南山堂								

授業科目	医療概論	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次前期	担当者	大石敏弘
								職種	医師
授業のねらい・目標	医療者として必要な医学の歴史や科学としての医学、医療体制について理解する。さらに現代医療の諸問題を学ぶ。また、病と健康に関する多くの学問が相互に繋がっていることを理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	医学と医療				講義	大石	
		2	医療と看護の原点 チーム医療				講義	大石	
		3	保健・医療・介護 切れ目ないサポートの実現				講義	大石	
		4	医療と社会				講義	大石	
		5	科学技術の進歩と現代医療の最前線				講義	大石	
		6	現代医療の新たな課題				講義	大石	
		7	医療を見つめ直す新しい視点				講義	大石	
		8	試験					大石	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	小泉俊三他, 系看 別巻 総合医療論, 医学書院								
参考図書									

授業科目	病態生理学 I 泌尿器の障害		単位	病態生理学 I で1単位	時間数	6時間	講義時期	1年次	担当者	中川博道	
									職種	医師	
授業のねらい・目標	<p>人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ</p> <p>1. 泌尿器の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する</p>										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	腎・泌尿器の解剖生理振り返り 排尿に関連した症状、主な検査(膀胱鏡・経尿道的検査・尿流動態検査等)					講義	中川		
		2	尿路結石症、尿路の通過障害と機能障害(BPH、神経因性膀胱等) 排尿に関連した感染症					講義	中川		
		3	尿路・性器の腫瘍(治療として尿路変更術等)、男性性機能障害、排尿障害					講義	中川		
		4	試験						中川		
評価方法	筆記試験										
履修上の注意											
テキスト	今井亜矢子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院										
参考図書											

授業科目	病態生理学 I 女性生殖器の 障害	単位	病態生 理学 I で1単位	時間数	6時間	講義時期	1年次	担当者	小松 孝之
								職種	医師
授業の ねらい ・目標	人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ 1. 女性生殖器の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 2. 看護するにあたり必要な基礎的知識を理解する								
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	膣(膣炎)・子宮(子宮筋腫・子宮脱・子宮がん・子宮 内膜症) 卵巣(良性・悪性腫瘍)・乳房疾患(乳がん)の病態・ 検査・治療				講義	小松	
		2	月経異常・更年期障害・不妊症				講義	小松	
		3	性感染症・性分化疾患				講義	小松	
		4	試験					小松	
評価方法	筆記試験								
履修上の 注意									
テキスト	末岡浩他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学9 女性生殖器 医学書院								
参考図書									

授業科目	病態生理学 I 腎機能の障害		単位	病態生理学 I で1単位	時間数	6時間	講義時期	1年次	担当者	野垣 文昭	
									職種	医師	
授業のねらい・目標	<p>人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ</p> <p>1. 腎機能の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する</p>										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	腎臓の解剖生理振り返り、腎機能検査、腎生検、腎機能障害による症状(浮腫、循環器系による異常、血液の異常等)					講義	野垣		
		2	腎疾患(ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、腎血管性病変、腎腫瘍等)					講義	野垣		
		3	腎不全と治療、透析療法(HDとPD)腎移植					講義	野垣		
		4	試験						野垣		
評価方法	筆記試験										
履修上の注意											
テキスト	今井亜矢子ほか, 系看 専門分野 成人看護学⑧ 腎・泌尿器, 医学書院										
参考図書											

授業科目	病態生理学 I 体の支持と運動の障害	単位	病態生理学 I で1単位	時間数	12時間	講義時期	1年次	担当者	加藤 弘文
								職種	医師
授業のねらい・目標	人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ 1. 骨・筋系の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	運動器総論、骨折、脱臼、腫瘍・腱・肩疾患、細菌感染				講義	加藤	
		2	神経(脊髄損傷、頸椎疾患、腰椎疾患、末梢神経疾患)				講義	加藤	
		3	関節(関節リウマチほか、変形性関節症、人工関節)				講義	加藤	
		4	フレイル、サルコペニア、ロコモ、骨粗鬆症				講義	加藤	
		5	高齢者に多い骨折(大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折)、腰痛				講義	加藤	
		6	血栓症、コンパートメント症候群、ギプス/ギプス巻き演習				講義、演習	加藤	
		7	試験					加藤	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意	第6回「ギプス固定演習」は参考図書を学習して参加してください。								
テキスト	田中栄他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑩ 運動器 医学書院 鳥羽研二他 系統別看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院								
参考図書	山本恵子監修 写真でわかる整形外科看護アドバンス インターメディカ								

授業科目	病態生理学Ⅱ 呼吸の障害		単位	病態生理学Ⅱ で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次	担当者	小林 淳	
									職種	医師	
授業のねらい・目標	<p>人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ</p> <p>1. 呼吸の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する</p>										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	呼吸器疾患 肺炎 気管支鏡 呼吸不全 呼吸窮迫症候群					講義	小林		
		2	呼吸器疾患 喘息					講義	小林		
		3	COPD					講義	小林		
		4	肺がん 自然気胸 胸腔穿刺					講義	小林		
		5	肺結核、非結核性抗酸菌症					講義	小林		
		6	試験						小林		
評価方法	筆記試験										
履修上の注意											
テキスト	浅野浩一郎他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学② 呼吸器, 医学書院										
参考図書											

授業科目	病態生理学Ⅱ 消化器の障害		単位	病態生理学Ⅱ で1単位	時間数	14時間	講義時期	1年次	担当者	松下 雅広	
									職種	医師	
授業のねらい・目標	<p>人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ</p> <p>1. 消化器の障害の病態、臨床検査、診断、内科的治療について理解する 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する</p>										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	消化器の構造と機能をふまえた病態生理① 食道 胃・十二指腸 嚥下困難 おくび・胸やけ 嘔気・嘔吐					講義	松下		
		2	消化器の構造と機能をふまえた病態生理①小腸 大腸 腹痛 吐血・下血 下痢 便秘					講義	松下		
		3	消化器の構造と機能をふまえた病態生理② 肝臓 胆道系 腹痛 食欲不振					講義	松下		
		4	消化器の構造と機能をふまえた病態生理② 肝臓 胆道系 腹水 黄疸 肝性脳症					講義	松下		
		5	上部消化管 食道の疾患 胃・十二指腸の疾患 左記検査・治療					講義	松下		
		6	下部消化管 腸および腹膜疾患 左記検査・治療					講義	松下		
		7	胆肝膵疾患 左記検査・治療					講義	松下		
		8	試験						松下		
	評価方法	筆記試験									
履修上の注意											
テキスト	南川雅子 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑤ 消化器 医学書院										
参考図書											

授業科目	病態生理学Ⅱ 口腔・味覚の 障害		単位	病態生 理学Ⅱ で1単位	時間数	6時間	講義時期	1年次	担当者	田中 四郎 松永 香織	
									職種	医師・歯科衛生士	
授業の ねらい ・目標	人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ 1. 口腔・味覚の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する										
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	齲歯、歯周病、顎顔面の先天異常と変形、外傷、口腔粘膜疾患					講義	田中		
		2	炎症 嚢胞性疾患、腫瘍(悪性腫瘍・良性腫瘍)唾液腺の疾患、神経性疾患、顎関節疾患					講義	田中		
		3	口の役割、口腔ケアの目的など					講義	松永		
		4	試験						田中		
評価方法	筆記試験										
履修上の 注意											
テキスト	渋谷絹子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑮ 歯・口腔 医学書院										
参考図書											

授業科目	病態生理学Ⅲ 脳神経の障害	単位	病態生理学Ⅲ で1単位	時間数	14時間	講義時期	1年次	担当者	浦野 裕美子 山形 桂司	
								職種	医師	
授業のねらい・目標	人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ 1. 脳神経の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
		1	脳出血 クモ膜下出血				講義	浦野		
		2	脳梗塞				講義	浦野		
		3	脳腫瘍(下垂体腫瘍)				講義	浦野		
		4	頭部外傷 治療				講義	浦野		
		5	髄膜炎 脳膿瘍				講義	浦野		
		6	パーキンソン 脱髄 ギランバレー症候群 筋ジス				講義	山形		
		7	認知症 アルツハイマー				講義	山形		
				試験					浦野・山形	
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	井手隆文他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑦ 脳・神経 医学書院									
参考図書										

授業科目	病態生理学Ⅲ 循環の障害		単位	病態生理学Ⅲ で1単位	時間数	12時間	講義時期	1年次	担当者	青山 武 金森範夫 蔦野 陽一	
										職種	医師
授業のねらい・目標	<p>人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ</p> <p>1. 循環器系の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する</p>										
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	先天性心疾患・心内膜炎・心臓弁膜症・弁置換術					講義	青山		
		2	心不全の病態と治療②(心エコー・X-p・薬物療法)					講義	青山		
		3	不整脈・心マッサージ・除細動器・ペースメーカー・ショック					講義	蔦野		
		4	高血圧・動脈硬化・閉塞性動脈硬化症・静脈瘤					講義	蔦野		
		5	循環の異常①(狭心症・心筋梗塞・心カテ・血栓溶解療法・血栓除去術・CABG)					講義	金森		
		6	循環の異常②(大動脈瘤・解離)					講義	金森		
		7	試験						青山・金森・蔦野		
	単元ごとは順不同です。										
評価方法	筆記試験										
履修上の注意											
テキスト	吉田俊子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学③ 循環器 医学書院										
参考図書											

授業科目	病態生理学Ⅲ 耳鼻・咽喉の 障害		単位	病態生 理学Ⅲ で1単位	時間数	4時間	講義時期	1年次	担当者	山河 和博	
									職種	医師	
授業の ねらい ・目標	<p>人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ</p> <p>1. 耳鼻咽喉の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する</p>										
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	耳鼻咽喉の検査と治療 耳の疾患(中耳炎・メニエール病・突発性難聴・顔面神経麻痺)					講義	山河		
		2	口の疾患(驚口瘡・口唇ヘルペス・舌がん) 鼻の疾患(扁桃炎・副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎) 咽頭の疾患(咽頭がん) 喉頭の疾患(喉頭がん)					講義	山河		
		3	試験						山河		
評価方法	筆記試験										
履修上の 注意											
テキスト	小松浩子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学④ 耳鼻咽喉 医学書院										
参考図書											

授業科目	病態生理学IV 皮膚の障害		単位	病態生理学IV で1単位	時間数	4時間	講義時期	1年次	担当者	鹿毛勇太	
									職種	医師	
授業のねらい・目標	<p>人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ</p> <p>1. 皮膚の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する</p> <p>2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する</p>										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	真皮・皮下脂肪織・汗腺・毛髪疾患など					講義	鹿毛		
		2	紅斑・紫斑など、褥瘡・脂漏性角化症・日光角化症・基底細胞癌					講義	鹿毛		
		3	試験						鹿毛		
	単元ごとは順不同です。										
評価方法	筆記試験										
履修上の注意											
テキスト	渡辺晋一他 系統別看護学講座 成人看護学⑫ 皮膚 医学書院										
参考図書											

授業科目	病態生理学IV 視覚器の障害		単位	病態生理学IV で1単位	時間数	6時間	講義時期	1年次	担当者	森田 英典 畑 泰代	
									職種	医師	
授業のねらい・目標	<p>人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ</p> <p>1. 視覚器の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する</p>										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	目の疾患の理解①屈折異常・調節異常・弱視・色覚異常など					講義	森田		
		2	目の疾患の理解②網膜・硝子体・網膜の疾患・白内障・緑内障など					講義	森田		
		3	目の疾患の理解③眼科で行われる検査について					講義	畑		
		4	試験						森田・畑		
	単元ごとは順不同です。										
評価方法	筆記試験										
履修上の注意											
テキスト	大鹿哲郎、平井明美 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑬ 眼 医学書院										
参考図書											

授業科目	病態生理学IV 内分泌・代謝 の障害		単位	病態生 理学IV で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次	担当者	坪井 堅太郎	
									職種	医師	
授業の ねらい ・目標	<p>人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ</p> <p>1. 内分泌系の障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 2. 看護するにあたり病態の変化を予測し、対応できる基礎的知識を理解する</p>										
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	内分泌・代謝の生理・解剖、症状とその病態生理 視床下部・下垂体疾患(クッシング病、下垂体腫瘍、 巨人症等)					講義	坪井		
		2	甲状腺疾患(橋本病、バセドウ病、甲状腺機能低下 症、甲状腺腫瘍) 副甲状腺疾患(原発性・続発 性副甲状腺機能亢進症、低下症等)					講義	坪井		
		3	副腎疾患(原発性アルドステロン症、クッシング症候 群、アジソン病) 糖尿病(疾患の概要、分類、 検査、診断、コントロールの指標)					講義	坪井		
		4	糖尿病の治療(食事・運動・薬物療法)合併症(急 性・慢性)					講義	坪井		
		5	脂質異常、メタボリックシンドローム、尿酸代謝異常					講義	坪井		
		6	試験						坪井		
評価方法	筆記試験										
履修上の 注意											
テキスト	黒江ゆり子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院										
参考図書											

授業科目	病態生理学Ⅳ 血液・リンパ・アレルギー系の障害		単位	病態生理学Ⅳ で1単位	時間数	10時間	講義時期	1年次	担当者	柳田 宗之	
									職種	医師	
授業のねらい・目標	<p>人間が健康障害をおこした時の病態を理解し、看護に応用できるように学ぶ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 血液・リンパの障害の病態、臨床検査、治療について理解する 2. 免疫系の障害・感染による障害の病態、臨床検査、診断、治療について理解する 3. 看護するにあたり病態の予測をし、対応できる基礎的知識を理解する 										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	血液の生理と造血の仕組み、検査(骨髄穿刺、出血傾向検査等) 治療(化学療法、輸血、骨髄移植等)					講義	柳田		
		2	赤血球系の異常(鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血、溶血性貧血等) 白血球系の異常(無顆粒球症、伝染性単核球症)					講義	柳田		
		3	造血器腫瘍(急性白血病、MDS、CML、CLL、ATLL、悪性リンパ腫、骨髄腫)出血性疾患(ITP、TTP、血友病、DIC)					講義	柳田		
		4	免疫とアレルギーのしくみ、検査(自己抗体検査、アレルギー検査)アレルギー疾患、アナフィラキシー					講義	柳田		
		5	膠原病、自己免疫疾患とその機序、全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、シェーグレン症候群、後天性免疫不全症候群					講義	柳田		
		6	試験						柳田		
評価方法	筆記試験										
履修上の注意											
テキスト	<p>飯野京子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学④ 血液・造血器 医学書院 岩田健太郎他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑩ アレルギー 膠原病 感染症 医学書院</p>										
参考図書											

授業科目	病態生理学V	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	2年次前期	担当者	押尾 智子 増田 幸子他	
								職種	専任教員	
授業のねらい・目標	<p>1年次に学習した病態生理学の内容を、実際の人間に起きている現象としてとらえ、疾患の状況を理解し、看護につなげることができる基礎的能力を養う</p> <p>1. 疾患の成り立ちが、解剖生理とつながるように学習する 2. 対象の置かれている疾患の状況を正確に把握し、病態関連図を表現できる 1) 健康障害を持つ対象の疾患を解剖学的・生理学的に理解できる 2) 対象の置かれている状況を把握するための情報が理解できる 3) 得られた情報から解釈をし、病態関連図として表現できる</p>									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	課題に対するプレテスト、事例紹介				講義	押尾・増田他		
		2	グループワーク1				G.W	押尾・増田他		
		3	グループワーク2				G.W	押尾・増田他		
		4	グループワーク3				G.W	押尾・増田他		
		5	グループワーク4				G.W	押尾・増田他		
		6	発表1				演習	押尾・増田他		
		7	発表2				演習	押尾・増田他		
		8	試験					押尾		
評価方法	課題に対するプレテストと最終筆記試験、グループワークへの参加状況を総合して評価します。									
履修上の注意	事前学習を十分に行い参加すること									
テキスト	坂井 建雄編 系統別看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 浅野浩一郎他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学② 呼吸器, 医学書院 吉田俊子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学③ 循環器 医学書院 飯野京子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学④ 血液・造血器 医学書院 南川雅子 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑤ 消化器 医学書院 黒江ゆり子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院 井手隆文他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑦ 脳・神経 医学書院 今井亜矢子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑧ 腎・泌尿器, 医学書院 岩田健太郎他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑩ アレルギー 膠原病 感染症 医学書院									
参考図書										

授業科目	病態生理学VI	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	3年次後期	担当者	金城・葛野・杉本 和田・田口・亀山 増田	
								職種	医師・専任教員	
授業のねらい・目標	<p>机上での学習と実習での学習を統合し、学生個々が知識として病態生理学を今後の看護に活かしていくことができるよう基礎的知識を養う。</p> <p>1. 疾患の成り立ちが、解剖生理学とつなげ、検査・治療を含めて理解できる 2. 対象の置かれている疾患の状況を正確に把握し、病態の理解・検査・治療から看護を深めることができる 1) 健康障害を持つ対象の疾患を解剖学的・生理学的に理解でき、診断のための検査・治療とつなげることができる。 2) 対象の置かれている状況を情報から理解し、病態に関する問題、看護に関する問題を解くことができる。</p>									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	脳・神経外科の疾患				講義・演習	金城		
		2	脳・神経外科の疾患(画像判断を含む)				講義・演習	金城		
		3	循環器の疾患				講義・演習	葛野		
		4	薬物療法				講義・演習	杉本		
		5	外科的療法				講義・演習	和田		
		6	精神科疾患				講義・演習	田口		
		7	臨床検査				講義・演習	亀山		
		8	試験・まとめ						増田	
評価方法	課題に対するプレテストと最終筆記試験、グループワークへの参加状況を総合して評価します。									
履修上の注意	事前学習を十分に行い参加すること									
テキスト	坂井 建雄編 系統別看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 浅野浩一郎他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学② 呼吸器, 医学書院 吉田俊子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学③ 循環器 医学書院 飯野京子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学④ 血液・造血器 医学書院 南川雅子 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑤ 消化器 医学書院 黒江ゆり子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院 井手隆文他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑦ 脳・神経 医学書院 今井亜矢子他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑧ 腎・泌尿器, 医学書院 岩田健太郎他 系統別看護学講座 専門分野 成人看護学⑩ アレルギー 膠原病 感染症 医学書院									
参考図書										

授業科目	診断と検査 (放射線検査)		単位	診断と 検査で 1単位	時間数	4時間	講義時期	1年次	担当者	白井 真理
									職種	診療放射線技師
授業の ねらい ・目標	医療における放射線医学の役割と、放射線防護の基本について学ぶ。									
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題					方法	担当者	
		1	放射線総論、放射線医療の役割と歴史 X線検査					講義	白井	
		2	放射線防護の基本 防御具装着演習					講義・演習	白井	
		3	試験						白井	
評価方法	筆記試験									
履修上の 注意										
テキスト	尾尻博也他, 系看:別巻 臨床放射線医学, 医学書院									
参考図書										

授業科目	診断と検査 (臨床検査)		単位	診断と 検査で 1単位	時間数	11時間	講義時期	1年次	担当者	亀山 拓哉 栗田 泉 甲賀 香子 原田 雅章 山田 晶美	
										職種	臨床検査技師
授業の目 標・ねらい	1. 各種の症状やデータをもとに健康障害を診断するプロセスについて理解し、看護に応用で きるように学ぶ。 2. 医学における診断のプロセスを理解する。										
授業内容 および方法	単元の まとめ	回	主題					方法	担当者		
	基礎	1	臨床検査の基礎 血液検査①					講義	亀山		
	血液	2	血液検査②					講義	原田		
	一般	3	一般検査、微生物検査					講義	栗田		
	病理	4	病理検査、内分泌検査					講義	甲賀		
	生理	5	生体検査					講義	山田		
		6	試験						亀山		
	<p style="text-align: center;">単元ごとは順不同です。</p>										
評価方法	筆記試験										
履修上の 注意											
テキスト	奈良信雄 系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院										
参考図書											

授業科目	治療学 I (薬物療法)	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	杉本 吉春 菅沼 博茂	
								職種	薬剤師	
授業のねらい・目標	疾病の回復を促進する治療の基礎知識を学ぶ 1. 疾病に対して有効に作用する薬物の基礎知識を学び、看護に応用できるように理解する 2. 治療にかかわる他職種の役割を理解する									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
		1	薬理学とは何か				講義	菅沼		
		2	看護業務に必要な薬の知識(処方せん等)、薬剤管理				講義・演習	菅沼		
		3	漢方医学の基礎知識				講義	菅沼		
		4	薬物代謝				講義	菅沼		
		5	相互作用				講義	菅沼		
		6	関節リウマチ治療薬(ステロイド等)				講義	菅沼		
		7	糖尿病薬について				講義	菅沼		
		8	薬理学の基礎				講義	杉本		
		9	抗感染症薬①				講義	杉本		
		10	抗感染症薬②				講義	杉本		
		11	消毒薬 濃度計算				講義	杉本		
		12	抗がん薬 免疫治療薬				講義	杉本		
		13	抗アレルギー薬 抗炎症薬				講義	杉本		
		14	末梢神経系作用薬				講義	杉本		
		15	試験・まとめ					菅沼・杉本		
	単元ごとは順不同です。									
評価方法	筆記試験									
履修上の注意	第2回の薬剤管理では薬剤暴露予防の演習を行います。ユニフォームで参加してください。									
テキスト	岡充弘, 系看 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進③ 薬理学, 医学書院 吉									
参考図書										

授業科目	治療学Ⅱ (麻酔法)		単位	治療学Ⅱで合わせて1単位	時間数	15時間	講義時期	2年次	担当者	白石義人	
									職種	医師	
授業のねらい・目標	<p>麻酔に対する専門的知識を学び、術中、術後の生体反応の変化を理解し、周手術期にある患者の看護を実施するための基礎知識を習得する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 麻酔の種類と特徴、主な薬剤を学ぶ 2. 手術中のモニタリングの特徴、目的を学ぶ 3. 手術中に起こりうる合併症、生体反応の変化とその管理を学ぶ 										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	麻酔とは					講義	白石		
		2	全身麻酔（麻酔薬、術前検査について）					講義	白石		
		3	全身麻酔（術中管理、術後管理、合併症について）					講義	白石		
		4	局所麻酔（脊椎麻酔、くも膜下麻酔、硬膜下麻酔）					講義	白石		
		5	術中の呼吸管理					講義	白石		
		6	手術療法と体液管理①					講義	白石		
		7	手術療法と体液管理②					講義	白石		
		8	試験						白石		
評価方法	筆記試験										
履修上の注意											
テキスト	矢永勝彦, 系看:別巻 臨床外科看護総論, 医学書院										
参考図書											

授業科目	治療学Ⅱ (外科療法)		単位	治療学Ⅱで合わせて1単位	時間数	9時間	講義時期	2年次	担当者	和田英俊 野澤雅之 渡邊貴洋 植田 猛
										職種
授業のねらい・目標	<p>消化器疾患を中心とした手術療法を学び、周手術期にある患者の看護を実施するための基礎知識を習得する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 手術療法の基礎知識を学ぶ 2. 低侵襲手術の専門的知識を学び、患者のQOLについて考えることができる 3. 解剖生理学を踏まえ各疾患の術式、術式に特徴的な合併症、予防について理解を深めることができる 									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者	
		1	外科総論、腫瘍、癌の進行、乳癌、胆石症					講義	植田	
		2	食道癌、胃癌、ロボット手術、腹腔鏡下手術					講義	渡邊	
		3	小腸腫瘍、大腸癌、腸閉塞、穿孔					講義	野澤	
		4	膵臓癌、肝臓癌					講義	和田	
		5	試験						和田	
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	北島政樹, 系看:別巻 臨床外科看護各論, 医学書院									
参考図書										

授業科目	治療学Ⅱ (放射線療法)		単位	治療学Ⅱで合わせて1単位	時間数	6時間	講義時期	2年次	担当者	塚本 慶亮 齋藤	
										職種	医師
授業のねらい・目標	医療従事者として必要な放射線に対する専門的知識を学ぶ 1. 疾患に対して有効に作用する放射線検査・診断の基礎知識を学ぶ 2. 放射線治療の基礎知識を学ぶ										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者		
		1	CT、MRI、超音波 検査・診断					講義	塚本		
		2	核医学、IVR・血管造影 検査・診断					講義	塚本		
		3	放射線治療総論・各論					講義	齋藤		
		4	試験						塚本		
評価方法	筆記試験										
履修上の注意											
テキスト	尾尻博也他, 系看:別巻 臨床放射線医学, 医学書院										
参考図書											

授業科目	治療学Ⅲ－1 (リハビリテーション療法)		単位	治療学Ⅲで合わせて1単位	時間数	8時間	講義時期	2年次	担当者	中野寛之 朝比奈基臣
	職種	理学療法士 作業療法士								
授業のねらい・目標	疾病の回復を促進する治療の基礎知識を学ぶ 1. リハビリテーションの概念と治療に関わる他職種の役割について理解する									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者	
		1	リハビリテーション療法とは					講義・演習	中野	
		2	運動障害とリハビリテーション療法					講義・演習	中野	
		3	中枢神経系の障害とリハビリテーション療法					講義・演習	朝比奈	
		4	自助具(杖の種類と使い方)、移動動作練習(歩行介助含)					講義・演習	朝比奈	
			試験						中野・朝比奈	
評価方法	筆記試験									
履修上の注意	実習室で動きの演習をするため、運動のできる服装を指示する事があります。									
テキスト	酒井郁子.金城利雄編, 看護学テキストNICE リハビリテーション看護, 南江堂									
参考図書										

授業科目	治療学Ⅲ-2 (食事療法)		単位	治療学Ⅲで合わせて1単位	時間数	7時間	講義時期	2年次	担当者	水野 直子
									職種	管理栄養士
授業のねらい・目標	疾病の回復を促進する治療の基礎知識を学ぶ 1. 人々の健康生活や疾病の回復のための栄養・食事の基礎的知識を学び、看護に応用できるように理解する 2. 治療に関わる他職種の役割を理解する									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当者	
		1	病態栄養について 消化器疾患の食事療法					講義	水野	
		2	術前・術後の栄養管理、循環器疾患の食事療法					講義	水野	
		3	腎・泌尿器疾患、糖尿病の食事療法					講義	水野	
		4	試験						水野	
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	足立香代子ほか, 系看 別巻 栄養・食事療法, 医学書院 新成分表編集委員会編, 新食品成分表FoodDs, 東京法令出版株式会社									
参考図書	日本糖尿病学会編・著, 糖尿病食事療法のための食品交換表, 日本糖尿病協会・文光堂									

授業科目	医療倫理	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次前期	担当者	本家 淳子	
								職種	専門看護師	
授業のねらい・目標	医療の現場において生じているさまざまな問題を取り扱うことを通じて、倫理的な問題に関する基本的な知識を身につけ、そうした問題について積極的に議論できる力を身につけることを目標とします。									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当		
		1	生命倫理と看護職の責務① ーインフォームド・コンセントー				講義	本家		
		2	生命倫理と看護職の責務② ーインフォームド・コンセント(癌告知)ー				講義	本家		
		3	生命倫理と看護職の責務② ー守秘義務と個人情報ー				講義	本家		
		4	看護倫理とはなにか① ー看護の倫理原則と実践上の倫理的概念ー				講義	本家		
		5	看護倫理とはなにか② ー看護実践と倫理ー				講義	本家		
		6	専門職の倫理、チーム医療のなかでの看護の専門生				講義	本家		
		7	倫理的問題へのアプローチ① ー看護実践における倫理的問題の特徴ー				講義	本家		
		8	倫理的問題へのアプローチ② ー演習ー				講義	本家		
		9	倫理的問題へのアプローチ③ ーディスカッション(インフォームド・コンセント)ー				講義	本家		
		10	倫理的問題へのアプローチ④ ーディスカッション(出生前診断)ー				講義	本家		
		11	倫理的問題へのアプローチ⑤ ーディスカッション(治療の差し控え)ー				講義	本家		
		12	医療資源の配分				講義	本家		
		13	倫理的問題へのアプローチ⑥ ーディスカッション(事例未定)ー				講義	本家		
		14	看護研究と倫理				講義	本家		
		15	試験 まとめ				試験 講義	本家		
評価方法	筆記試験、各講義ごとのアンケートの提出を通して評価する。									
履修上の注意	積極的に質問・ディスカッションする姿勢をもってください。									
テキスト	宮坂道夫,『系統看護学講座 別巻 看護倫理』, 医学書院, 2018年.									
参考図書	赤林朗編,『入門医療倫理 I (改訂版)』, 勁草書房, 2017年.									

授業科目	公衆衛生学	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次	担当者	永井 しづか
								職種	医師
授業のねらい・目標	<p>疾病を予防し、人々が安全に健康生活を保持増進するための諸条件と社会における組織的な予防保健活動を学ぶ</p> <p>1. 健康生活の基礎となる生活環境について理解する 2. 衛生行政について理解する 3. 地域社会における疾病の予防活動について理解する</p>								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者	
		1	公衆衛生の意義と目的 健康とは				講義	永井	
		2	集団の健康をとらえるための手法				講義	永井	
		3	感染症とその予防対策				講義	永井	
		4	食中毒				講義	永井	
		5	地域における公衆衛生の実践				講義	永井	
		6	学校と健康				講義	永井	
		7	職場と健康 介護保険、労働安全衛生、				講義	永井	
		8	試験					永井	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	神馬征峰ほか, 系看専門基礎 健康支援と社会保障制度②公衆衛生, 医学書院 国民衛生の動向, 厚生労働統計協会								
参考図書									

授業科目	社会福祉概論	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	1年次後期	担当者	佐々木隆志
								職種	
授業のねらい・目標	私たちの日常生活のなかで、社会福祉や社会保障がどのように機能し、国民の生活を支えているかについて理解する。また、非正規労働者の増加、貧困問題、生活困窮、ひとり親世帯や8050問題など、現代社会の構造から生み出されている各種の生活課題について、誰が、どこで、どのような支援を行っているかについて理解する。社会福祉と社会保障の関係について理解する。社会福祉サービスの実施機関及び社会福祉と保健・医療との連携について理解する。								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	社会保障の概念と社会福祉の法体系について				講義	佐々木	
		2	社会福祉法の定義と福祉サービスの仕組みについて				講義	佐々木	
		3	児童・障害・高齢者問題の実態について(ビデオ活用)				講義	佐々木	
		4	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向について				講義	佐々木	
		5	現代社会の変化 人口の変化について				講義	佐々木	
		6	地域社会の変化について				講義	佐々木	
		7	経済状況の変化 雇用状況の変化について				講義	佐々木	
		8	社会保障・社会福祉の動向について				講義	佐々木	
		9	医療保障制度の構造と体系				講義	佐々木	
		10	健康保険と国民健康保険について				講義	佐々木	
		11	介護保険制度創設の背景と介護保障のしくみ				講義	佐々木	
		12	所得保障制度のしくみ 年金保険制度のしくみ				講義	佐々木	
		13	障害者の定義と実態、障害者の雇用問題について				講義	佐々木	
		14	児童・家庭福祉の事態とサービスの仕組みについて				講義	佐々木	
		15	試験 生活保護制度のしくみ まとめ					佐々木	
評価方法	①定期試験の実施、②講義中の小課題の取り組み、③出席状況、④課題提出物、①～④を総合し評価する。								
履修上の注意	教科書、ノート、筆記用具学ぶ姿勢、集中力が将来を左右します。日々の努力と健康管理が大切です								
テキスト	福田素生ほか, 系統 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度③ 社会保障・社会福祉, 医学書院								
参考図書	厚生労働省の指標 増刊, 国民福祉の動向 厚生労働統計協会, 各年度版 厚生労働省の指標 増刊, 国民衛生の動向 厚生労働統計協会, 各年度版								

授業科目	社会福祉各論		単位	2単位	時間数	30時間	講義時期	3年次後期	担当者	増田 佐々木 川嶋 村松 杉本 菅原 市川 米澤 川合 坂田	
									職種	保健師・社会福祉士・専任教員	
授業のねらい・目標	保健医療福祉の現状と課題を学び、各職種の活動の実際と職種の役割を知る。地域でくらす様々な人々の生活する中での課題を知り、どのような制度が関連し支援されているのかを理解することができる。										
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題					方法	担当		
		1	MSWの活動の実際（病院内における活動）病院で働く立場から、社会の中での課題をどう考えているのか（医療費支払いの現状等）					講義	川島知記 (病院MSW)		
		2	低所得者に対する支援と生活保護制度 活動の実際					講義	村松由紀子 (市役所福祉課)		
		3	権利擁護と成年後見制度の実際 活動の実際と課題 島田市の状況 社協について 生活困窮者自立支援事業					講義	杉本優子 (島田市社会福祉協議会)		
		4	障害者の相談支援 仕組み/内容/現状/島田市基幹相談支援センター活動の実際					講義	菅原小夜子 (こころ)		
		5	障害者の就労支援と課題 一般就労(企業就労)・福祉的就労					講義	市川武 (空と大地と)		
		6	地域包括支援センターの活動の実際 相談内容や支援内容/一人暮らしの高齢者や高齢者2人暮らしの家庭での課題など					講義	米澤美晴 (包括ケア推進課保健師)		
		7	母子・児童家庭福祉（育ちの環境としての家庭生活の現状、児童に関わる法と施策、子どもの人権と貧困対策、支援の実際）					講義	川合陽子		
		8	障害児における「特殊教育から特別支援教育」への転換 就学期の横の連携だけでなくライフサイクル全体を見据えた支援の在り方や実際について					講義	(島田市肢体不自由児の会～リアンの会～代表)		
		9～12	各制度の理解を深め活用の仕方を学ぶ					講義・GW・演習	増田 幸子		
		13	社会保障の概念と社会福祉の法体系・各制度の定義と福祉サービスの仕組み①					講義	佐々木隆志		
		14	社会保障の概念と社会福祉の法体系・各制度の定義と福祉サービスの仕組み②					講義	佐々木隆志		
		15	最終試験・まとめ					講義・GW	増田 幸子		
	評価方法	出席状況・課題提出物・最終テストで評価									
	履修上の注意										
テキスト											
参考図書	福田素生ほか, 系看 専門基礎 健康支援と社会保障制度③ 社会保障・社会福祉, 医学書院										

授業科目	看護と法律	単位	1単位	時間数	30時間	講義時期	2年次	担当者	国京 則幸	
								職種		
授業のねらい・目標	<p>法がどのように社会で機能しているのか、また、看護と法との関連性を理解する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護業務に携わる人は豊かな人権感覚をもつ必要があることを理解する 2. 看護業務に携わる人の身分や業務に関する法を理解する 3. 健康な生活を維持するために必要な法を理解する 									
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当者		
		1	看護と法、法律				講義	国京		
		2	看護師の法的措置				講義	国京		
		3	看護師の法的措置(業務)				講義	国京		
		4	民事責任の体系①				講義	国京		
		5	民事責任の体系②				講義	国京		
		6	刑事責任の体系①				講義	国京		
		7	刑事責任の体系②				講義	国京		
		8	医療の提供				講義	国京		
		9	医療保障(健康保険)				講義	国京		
		10	医療保障(国民保険)				講義	国京		
		11	医療保障				講義	国京		
		12	介護保険				講義	国京		
		13	関係法規①				講義	国京		
		14	関係法規②				講義	国京		
		15	試験					国京		
評価方法	筆記試験									
履修上の注意										
テキスト	森山幹夫, 系看:専門基礎分野 健康支援と社会保障制度④看護関係法令, 医学書院									
参考図書										

授業科目	臨床心理学	単位	1単位	時間数	15時間	講義時期	1年次後期	担当者	村田 桂子
								職種	臨床心理士
授業のねらい・目標	1. 臨床心理学の基礎を学び、心理的援助と心理アセスメントの実際について理解する 2. 医療場面での患者及び看護職者の心理について理解を深める 3. 心理療法とカウンセリングの理論と技法を学び、多職種間で協力して看護実践できる力を身につける 4. 気持ちを伝える力、受け止める力を演習を通して身につける								
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題				方法	担当	
		1	患者の理解、看護職者の理解				講義	村田	
		2	臨床心理学の基礎 心理的援助				講義・演習	村田	
		3	面接の方法(カウンセリングの技法)				講義・演習	村田	
		4	心理アセスメント				講義・演習	村田	
		5	カウンセリングと心理療法 (精神分析・PCA)				講義・演習	村田	
		6	カウンセリングと心理療法 (交流分析・認知行動療法)				講義・演習	村田	
		7	カウンセリングと心理療法(家族療法・グループ)				講義・演習	村田	
		8	試験					村田	
評価方法	筆記試験								
履修上の注意									
テキスト	長田久雄 看護学生のための心理学 医学書院								
参考図書									